

2023年度第1回AAA会議の開催報告

国際戦略室 内田 一弘

1. AAA 会議とは？

AAAとは、水インフラの海外展開向けの組織で、特徴ある経験を踏まえて、観光を含めた都市づくりという観点とともに、水・環境問題のソリューションを提供するWESHub（下記、参照）に登録された“水・環境インフラ分野について先進的な技術・経験を持つ都市”から構成されています。国土交通省では登録団体を Alliance Advanced Agencyと呼んでいます。AAA会議は、登録団体による連絡調整を図る会議であり、事務局は国土交通省となっておりますが、契約に基づき日本下水道事業団は2020年度から事務局事務の支援業務を行っております。

参加団体：国土交通省、仙台市、埼玉県、東京都、川崎市、横浜市、名古屋市、滋賀県、大阪市、神戸市、北九州市、福岡市、日本下水道事業団、JSC、JICA

WESHub (Water and Environment Solution Hub) とは？

日本のサニテーション関係団体が、2009年シンガポール国際水週間に開催されたアジア・太平洋水フォーラム (APWF) で、日本のナレッジハブとなる日本サニテーションコンソーシアム (以下「JSC」) のビジネスプランを提案し、APWFに認められ、同年10月16日にJSCが発足しました。

WESHubは、JSCが行うKnowledge Hub構想に参画する地方公共団体のネットワークです。

下水道：WES Hub ～水・環境ソリューションハブ～ - 国土交通省 (mlit.go.jp)

<https://www.mlit.go.jp/mizukokudo/sewage/WESHub.html>

2. 2023年度第1回AAA会議の概要

開催日 2023年8月31日 (木) 午後3時00分から午後5時00分まで

場所 国土交通省 中央合同庁舎2号館 12階 国際会議室

議題 (1) 各団体の国際活動状況について

(2) 参加団体への照会結果及びディスカッション

参加団体数及び参加者数

国土交通省、AAA (12団体)、AAA会議支援団体 (2団体)

※ 対面参加 11名、オンライン参加 26名

3. 議事概要

(1) 各団体の国際活動状況について

AAA登録の12団体及び、国土交通省、AAA会議を支援する2団により、2023年度の活動状況が報告されております。

AAAが活動する都市との連携を始めた経緯や財源に対する質疑では、各団体が有する海

外都市との協力協定を基盤とすることや、財源では JICA のプログラムなど限られた財源となっていることが示されました。

また、JICA が排水処理で注目する都市では、JICA が既に関係を有している都市において、選択と集中の姿勢で進めるとの回答がありました。

(2) 参加団体への照会結果及びディスカッション

大阪市が照会した「2025 年大阪・関西万博の開催期間における各 AAA の下水道広報」では、各 AAA は通常の広報で臨むことが報告され、国土交通省が照会した「ポストコロナ時代における AAA 会議のあり方」では、継続した情報交換の場の提供に加えて、同一国での都市間連携などが話し合われております。今後、AAA 会議の場を通じて国際展開を行う都市同士での連携が図れるなど、AAA 会議が有益に展開されることが期待されます。

4. その他

会議は、対面とオンラインを併用ですが進行や意見交換は順調に行われ、コロナ禍で過ぎた 3 ヶ年で、オンライン対応は醸成されていることが伺えます。

一方オンライン会議の品質では、音声や映像が不明瞭となる団体も存在しており、通信回線やカメラなどの整備環境のバラつきは依然として存在する状況でした。

今回、カメラとマイク・スピーカーが一体化されたデモ機を準備し、その利用環境を確認しております。会場参加者が個別に映像化され、臨場感の向上に役立っていました。



会場風景



カメラ・マイク・スピーカーの一体機の映像